

生活行動援助技術	1 年・後期	2 単位	教授 及川 秀子 助教 松崎 圭子 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110572

1. 授業のねらい・概要

看護実践能力の基礎となる人間の生活行動と看護について学習し、援助ニーズを充足する基本的な技術の修得を目的とする。また、人間の生活行動における共通性と個別性を理解し、よりよい援助について考える機会とする。

2. 到達目標

1. 人間の生活行動における生理的・社会・心理的側面が理解できる。
2. 生活行動援助技術の根拠を理解し、援助を実施することができる。
3. 援助を受ける人の身体的・心理的反応を体験することにより、対象への理解を深めることができる。
4. 実施した援助を振り返り、援助提供者としての課題を明らかにすることができる。
5. 看護提供者としての身だしなみ・態度・言葉遣いについて考え、自ら実践することができる。

3. 授業の進め方

講義、デモンストレーション、演習の形式で進めるが、グループ発表や学生によるデモンストレーションなど参加型学習を取り入れる。演習は数名の学生で編成したグループ単位で行い、患者・看護者・観察者を体験し、グループディスカッションとレポートの作成により学びを共有する。

4. 授業計画（演習）

1. 病衣・寝衣交換（松崎桂子）	16. 実技試験（松崎・及川）
2. 身体の清潔（及川）	17. 実技試験（松崎・及川）
3. ガイダンス（及川秀子・松崎桂子）	18. 実技試験フィードバック（及川・松崎）
衣生活の援助（松崎桂子）	19. 口腔ケア（松崎）
4. 全身清拭①（及川）	20. 排泄の援助の基礎知識①（及川）
5. 清拭技術の検討（松崎）	21. 排泄の援助の基礎知識②（及川）
6. 実技試験課題提示・アセスメント（松崎・及川）	22. 排泄介助（及川）
7. 全身清拭②（及川）	23. オムツの機能と実際（松崎）
8. 清拭技術の検討（松崎）	24. 陰部洗浄の基礎知識（松崎）
9. 洗髪介助の基礎知識（松崎）	25. 陰部洗浄（松崎）
10. 洗髪介助（松崎）	26. 清潔行動における共通性と個別性
11. 入浴・シャワー浴（及川）	27. 食生活の援助（松崎）
12. 部分浴・整容の基礎知識（及川）	28. 食事介助（松崎）
13. 手浴・足浴（及川）	29. 非経口的食事摂取（及川）
14. 清拭技術の検討（松崎）	30. まとめ（及川・松崎）身体の清潔（及川）
15. 口腔ケアの基礎知識（松崎）	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 60%、実技試験 20%、提出物 20%により総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

- ・有田清子他，基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院
- ・吉田みつ子他，写真でわかる基礎看護技術 アドバンス，インターメディカ

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画の提示範囲について最低 1 時間の予習と授業内容の復習を行う。また、臨地で実践可能な水準の技術を修得するため授業時間外で自主練習を行う。

8. 受講上の留意事項

受け持ち看護実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバック

提出物は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもある。実技試験の

結果は実施後の振り返りでフィードバックする。筆記試験については実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。